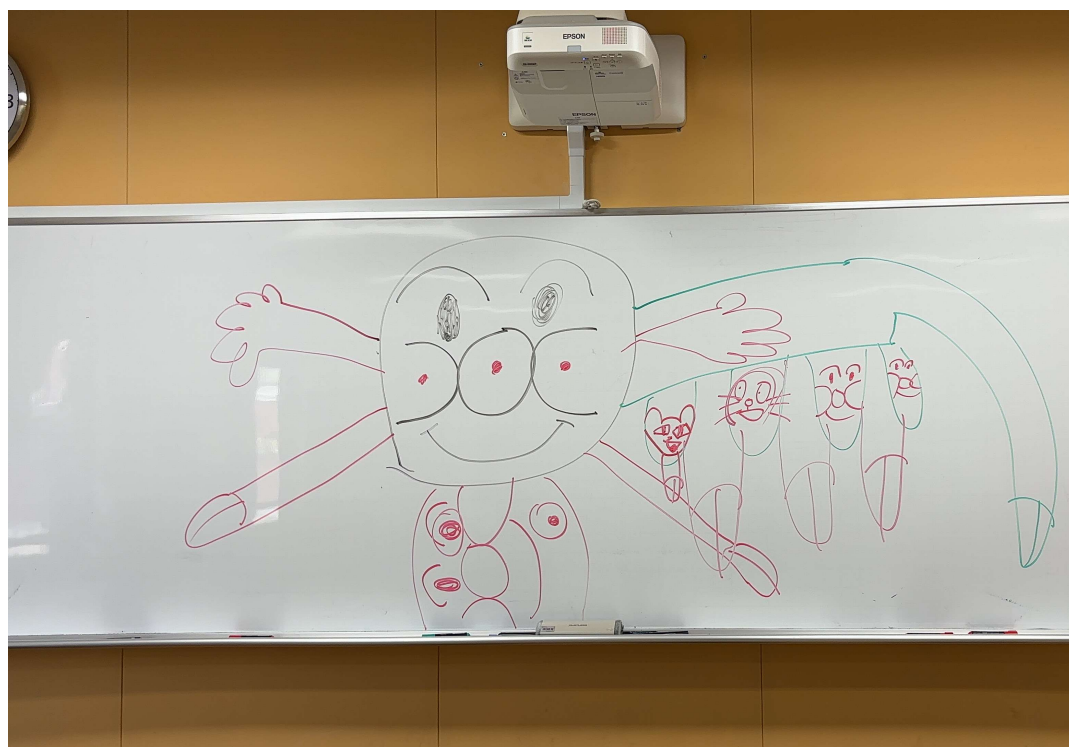


知る人ぞ知る育英の「バンクシー」

またも新しい絵が……

ホワイトボード一面に謎の絵

消えた名作



育英の「バンクシー」が描いたと思われる絵。ホワイトボード一面に広がる。（7日 教室撮影）

増え続ける謎の絵

犯人発見に至らず

彼は決して姿を見せない。そして、あらゆるものに抽象的な絵を描く。その絵は社会を風刺している。

イギリスの「バンクシー」だ。彼は正体不明の画家である。この育英高校にて、あたかも「バンクシー」が描いたかのような絵がいくつも見つかった。

6日午後、1→4教室にて、ホワイトボードに巨大な絵が描かれていることに取材班が気付いた。取材班はすぐさま写真を撮影し、記事作成に取り掛かったが、その「絵」は、気づかないうちに消されていた。

写真を見ていると、

社会を風刺しているのか、まったく見当もつかない。これは素人の意見であるが、「アンパンマン」の顔のようなもの、また、ほかのキャラクターの顔も多数描かれている。

何をイメージして描かれたのか、それとも単なる落書きに過ぎないのか。この絵から情報を抜き取ることとは難しいが、迷惑行為とも言いえる。育英の「バンクシー」には、適度に絵を描くよう促している。（編集部） 2024-06-09

<広告欄>

本誌の発行にあたり

本誌の記事に、「バンクシー」という表記があるが、この事件について「バンクシー」と呼んでいる本人とは何の関係もな

い。編集部が「バンクシー」に似ている行為をした者を「バンクシー」と呼んでいるだけである。

（仮称）

カトー新聞

ご覧いただきありがとうございました。

初回誌でありながら、本誌を読んでくださった方々に深く感謝の意を表

します。まことにありがとうございました。（編集部）